

強盗および特殊詐欺を想定した訓練を実施 ～ 地元警察署の協力を得て、永和支店と初芝支店で ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋知史）は、防犯対策の再確認と防犯意識の向上を図るため、8月6日（火）に永和支店（東大阪市、支店長 山本慶太）、8月7日（水）に初芝支店（堺市、支店長 熊野尚典）で強盗および特殊詐欺を想定した訓練を実施しました。

永和支店では布施警察署の協力のもと、警察署員が扮する強盗が店舗に押し入り、刃物で現金を要求するという設定で行われました。当金庫職員は、警察への通報、犯人の特徴や逃走経路の正確な伝達など、強盗事件への対応方法を訓練し、続いて特殊詐欺を想定した訓練も実施しました。警察署員からは「防犯に対する役割分担が明確にされており、犯人に関する情報もよく収集できていた」との評価を受けました。

一方、初芝支店では黒山警察署の協力のもと、特殊詐欺を想定した訓練を実施しました。当金庫では全店あげて特殊詐欺の未然防止に努めていますが、近年、特殊詐欺の犯罪手口が複雑・巧妙化していることから、最新の情報を地元警察署と共有するとともに、防犯への対応力を高めるため、当金庫職員と警察署員によるロールプレイング形式ですすめられました。警察署員からは「特殊詐欺被害への機動的な対応ができていた」との評価を受けました。

当金庫は、平成16年から毎年防犯訓練を行い、今後も継続して実施することで、より強固な防犯体制づくりと事件の未然防止に努めてまいります。

記

実施日	実施店舗	実施訓練	訓練参加者数
8月6日（火）	永和支店	強盗事件対応、特殊詐欺対応	15名
8月7日（水）	初芝支店	特殊詐欺対応	19名



永和支店での防犯訓練の様子



初芝支店での特殊詐欺対応訓練の様子

以上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた取り組みのうち、右記の目標に寄与するものです。

